

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月29日更新

事務事業名	放課後学童保育助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 中嶋 万喜
体系	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 二瀬 義継
	基本事業	57	子育てと仕事の両立支援		所属班	子ども保育班	(内線) 2312
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10583	法令根拠	合志市放課後児童健全育成事業補助金交付要綱
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	
						成果優先度評価結果	③
						コスト削減優先度評価結果	⑪

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	児童の放課後の預かりを実施する各小学校保護者会が運営する学童クラブに対して支援(5小学校)する事業。全国的に共働きなどにより昼間親が家にいない家庭の学童を、放課後や休暇中に保育する必要性があり、1950年代から民間で始まったものに、昭和51年に厚生省が同事業の助成を開始し、それを受けて西志南、東小で平成4年に、合志南小で平成5年に開所した。出生や転入による人口増加、不況などの理由による母親の就労が増えたこともあり、年々、学童クラブへの申込が増えている。そのため、これまで10人を満たさず単独の開所が出来なかったため、ふれあい館のキッズクラブで対応していた第一小学校校区の児童が今年度は16人の申込みがあったため、校区内に単独の開所(立割区老人憩いの家)を行っている。国は、平成21年度に、学童クラブと学校施設である多目的室を使用していた合志南小学校学童クラブ及び100名近い児童の登録のある西志東小学校を分割したほか、平成22年度に南ヶ丘小学学童クラブを分割するなどを経て、平成23年度現在、9箇所に補助を行なった。また、西志南小学校に第二学童保育所を建設した。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①補助金申請書(添付:事業計画書、収支予算書、概要調書、請求書、規約)受付、審査 ②補助金決定伺い ③補助金決定通知書 ④補助金交付伺い(支出負担行為、支出命令書作成) ⑤実績報告書(添付:収支精算書、事業報告書) ⑥補助金支出等審査 ⑦補助金返還命令 ⑧補助金返還受入れ
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	市内全学童クラブで申込が増えているほか、預かり時間の延長の要望があがっている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
保護者会が運営する学童クラブに国基準に基づいて、預り児童人数に応じて運営補助金の支払を行った。また、学童クラブの施設環境整備として、AED・防犯カメラ・空気清浄機等の備品補助を行った。	放課後学童保育事業(事業連番10582)へ統合廃止。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 学童クラブ数	施設: 放課後学童保育事業(事業連番10582)へ統合廃止。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
→ ア: 放課後に保護者が就労している小学校低学年の児童 イ: 学童クラブ保護者会	→ ア: 学童クラブ数 イ: 施設
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
→ ア: 安心して放課後が過ごせる。 イ: 安心して仕事ができる。	→ ア: 学童クラブの登録者数 イ: 人
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠	
学童クラブ待機児童数ゼロを目指しているため、学童クラブの登録者数として設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	21年度 実績(決算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	23年度 実績(決算)	24年度 目標(当初予算)	25年度 予定	26年度 見込	27年度 見込
① 活動指標	ア 施設		0	8	9	9	10	10	11	11
	イ 施設									
② 対象指標	ア 施設		0	8	9	9	10	10	11	11
	イ 施設									
③ 成果指標	ア 人		0	442	420	475	480	480	500	500
	イ 人									
投資 入 費 量	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円		17,196	20,129	22,378		23,877	24,350	24,820
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円		8,095	10,065	11,521		12,630	12,880	13,130
(A) 事業費計	千円	0	25,291	30,194	33,899	0	36,507	37,230	37,950	
(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
正規職員従事人数	人	0	4	4	3	0	0	0	0	
延べ業務時間	時間	0	265	100	190	0	0	0	0	
(B) 人件費計	千円	0	1,091	412	767	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	0	26,382	30,606	34,666	0	36,507	37,230	37,950	

事務事業名	放課後学童保育助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 国の基準どおり市内の学童クラブに補助したため達成した。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 国の基準どおり市内の学童クラブに補助する予定であるため目標は達成する見込みがある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 国の基準どおり補助を行っているため国にゆだねられる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 保育園での小学校低学年受入れについては、受入人数が絶対数足りないことと併せて、放課後地域子ども教室事業では、週2日程度と毎日の対応ができないため、今のところ現在の事業形態が最善である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 国が規定する事業であり、今後国は小学校毎に設置目標を設定しているため事業の削減は出来ない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在が最低事務量であり、国の動向によってはますます事務量が増える可能性もある。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 本事業の対象は小学校3年生以下の児童でかつ放課後の時間帯に就労等の理由で家に保護者がいない児童と決まっているため、公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 保護者会での実施運営に対しての運営費補助であるため役割分担は訂正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

国の基準どおり補助ができた。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						